岡高新聞

中学生版

発行所
岡崎市明大寺町伝馬・愛知県立岡崎高等学校
編集・発行
岡高新聞部
顧問
江崎　寛・柳橋知紀
三竹博和・磯谷正行
印刷
プラザー印刷物

中学生の皆さんへ

校長　髙井　俊直

この「岡高新聞（中学生版）」は、新聞部の生徒が企画・編集し、中学生の皆さんに「岡高生の日常」を紹介するために発行するものです。今年度は、二回の発行を予定しています。生徒の目線で書かれた記事から、部活動や学校行事などにアグレッシブに取り組む岡高生の素顔を感じてもらえたら幸いです。

八月二日には体験入学を予定しています。この新聞記事を読んで興味をもった人、直接岡高の様子を知りたい人など、多くの中学生の皆さんの来校を待っています。

岡高の象徴　正門

生徒会長　清水　夏姫

ヒガオカ（東岡崎）から、汗をかきながら県高坂を登っていくと、正門が私たちを迎えてくれる。

大正時代に作られたという少しおしゃれな外観の門をくぐるとき、大志を秘め、屈折した岡高生の内面は少し素直になる。「理想を高く空にかけ向上の道たどらんと　岡に集えば我がゆくて　希望輝き渡るかな」は校歌の一節だ。

一日の学業を終え、私たちの帰路を優しく見送ってくれる私たちのシンボルである。

（前林中卒）

白熱！球技大会

体育企画委員長　柿澤　芳律

春は有酸素運動。やうやうアツくなりゆく声援……。ということで球技大会について語らせていただこう。球技大会とは岡高のトラディショナル・イベントであり、バレーボールやフットサルなど全六種目から成るクラス対抗の大会だ。球技大会に向けた岡高生の熱はすさまじい。力学計算でボールの軌道を推測し、情景描写から相手の心理を読みとくというウワサである。

もちろん球技大会の醍醐味は競技に限らない。仮装や応援……とここで字数が来てしまったようだ。皆さん、ぜひ一緒に楽しもう！

（竜海中卒）

「われら若駒」西三予選などの結果

「われら若駒」は、岡高の応援歌です。四・五月に行われた西三予選や県大会の結果の一部を紹介します。

【全国大会出場決定！】
・登山部　男女とも
（山本皓大・柴田悠希・酒井健太朗・蟹江亮太・野崎小百合・曳野紗史・平野杏奈・石原朱理）

【東海大会出場決定！】
・陸上　棒高跳び（岡部陽奈）

【県大会出場決定！】
・団体　弓道、体操、バレーボール
・個人　剣道（大澤玉青）
体操（山本知奈）卓球（田中美廉）
ソフトテニス（三田幸輝・田崎介盛）

岡高に入学して二ヶ月

岡高での生活は本当に充実しています。面白い授業、楽しいクラス、明るい部活、趣深い校舎、やたら重い荷物、やたら多い課題…など、中学校とはまた一味違う生活を送ることができます。

（井上綾斗　美川中卒）

岡崎高校に入学して何もかも全力で物事に取り組めるというところがいいと思いました！勉強も部活動も行事も最高にハイになれます！全力になることが好きな人、新しい自分を見つけたい人にオススメの高校です！

（堂田周良　崇化館中卒）

私は岡崎高校に入学して毎日新鮮で充実した日々を送っています。自分の知らないことを沢山知っている友人、レベルの高い授業…など初めは大変なことも多いですが慣れてくるとともても楽しい学校生活が待っています。

（楊　麗渉　豊川東部中卒）

岡高には向上心のある人が多く、互いに成長し合えるよい環境があります。様々なことに学校全体で取り組む皆の姿勢が魅力的で、早くも入学して良かったと感じています。

（小林奏太　高橋中卒）

岡高の良いところは通っている人たちだと思います。岡高の人たちはいつも自分の想像を超えてくるので、毎日が驚きの連続です。刺激的で楽しい毎日です。

（加藤遼太朗　六ツ美北中卒）

岡高は周りの生徒のレベルが非常に高く、授業についていくのが大変だけども、生徒も先生も面白いので、毎日が楽しいです。

（新　大和　矢作北中卒）

私は生徒会執行部に所属しています。行事の計画から当日の運営まですべて行うので大忙しですが、ここでの出会いと経験は一生モノです。

（野本小暖　安城北中卒）

岡高豆知識

制服：在校生からは苦言を呈されまくっているが、そのデザインこそ岡高の誇りと伝統を表している。女子の制服のベストは「裃（かみしも）」ともいうが、どこがベストなんだ、ワーストではないかと囁かれている。

課題帳：実力養成考査の提出物。提出したその日にもう次の課題帳が配布される。無駄にカラフルな表紙に騙される事なかれ。膨大な問題数が、あなたを一人前の岡高生にしてくれる。

五月に訪れること：岡崎高校の考査では大体の人は中学の時のような夢のスコアは取る事は許されない。それは一種の洗礼であって、悲観するようなことではない。

行事：中学校よりも自由度が高く、自発的に行われる。五月の球技大会でクラスがほぐれ、一年を共に歩み、三月のスポーツ大会で感じる青春は全ての岡高生の記憶に遺される。

（中根幹太　翔南中卒）

岡高といえば、コーラス部

野本　小暖

部長の熊谷円花さん（松平中卒）にインタビューしました。

Q　普段の練習について教えてください。

A　朝と昼は自主練習、放課後はパート別の練習や全体での合唱を行っています。

Q　コーラス部のいいところはどこですか。

A　いろんな人と関わることができるところです。部員が多いので友達はもちろん尊敬できる先輩ともたくさん出会うことができます。

Q　中学三年生に一言お願いします。

A　まさに「コーラス部＝青春」です！ぜひ私たちと共に歌を楽しみましょう！

（安城北中卒）

三月に行われた海外研修参加記

PTA主催　英国研修
そうだ　イギリス、行こう。

後藤　諒大

三月に約一週間、岡高生十二名が英国の姉妹高校を訪問した。研修内容は①高校での授業参観、②英語でポスター発表、③ホームステイである。ホスト高校は日本の大学のように様々な科目を少人数制で学べて興味深かった。現地でのコミュニケーションはすべて英語…だが、意外と何とかなるもの。君もぜひチャレンジして、新たな世界を切り拓いてほしい。

（豊川西部中卒）

バーミンガム市・ホスト高校にて

SSH事業　米国研修
一生に一度の経験を、アメリカで

山内　美桜

三月に、岡高生十一名が米国研修に参加しました。マサチューセッツ工科大学とハーバード大学での講演会や、現地高校の授業への出席、博物館見学など、多くの経験をすることができました。

特にホームステイでは、日本の文化との違いを肌で感じることができます。ぜひ、この研修に参加して一生に一度の思い出を作りませんか？

研究者カーバーとの夜の前で

（美川中卒）

名古屋大学GSC（グローバル・サイエンス・キャンパス）プログラムに参加して
宮崎ゆずは

三月に米国ノースカロライナ大学で研究成果を発表しました。地方都市における公共交通機関の再編についてデータサイエンスの手法で考察したもので、現地での反応も良かったです。デューク大などの研究室も訪問でき、研究者から最先端の研究成果を聞く機会もありました。科学分野への興味が広がり、自分の将来と向き合う貴重な機会となりました。

（附属岡崎中卒）

生徒の希望で三コースに分かれる修学旅行

魅力しかない会津若松

内田　有美

会津若松は魅力あふれる素晴らしい街だった。長い長い階段を駆け登った飯盛山、欲張って名物を食べまくった七日町通り、壮大で歴史を感じさせる鶴ヶ城、綺麗な夜景を眺めた東山温泉。これらの魅力的な風景の中で大好きな友達と過ごしたかけがえのない時間は、写真にはとても収まりきれない宝物になった。

（梅坪台中卒）

会津若松・鶴ヶ城

新たな発見

岡山・倉敷・広島　柴田　悠希

倉敷の美観地区の町並みは特筆すべきだ。大原美術館や歴史的建造物が立ち並び、「倉敷帆布」「倉敷デニム」といった倉敷ブランドが揃うおしゃれなお店や、町家を改装したカフェが軒を連ねていた。「岡山だの広島だの、ちょっと栄えているだけでしょ。」―私はそのような偏見を漠然と抱いていたが、見事に裏切られた。

倉敷・美観地区

（甲山中卒）

はぎつわの思ひ出

板倉　悠雅

失礼ながら、僕は「萩・津和野コース」を何もなさそう、田舎だろうと高をくくっていた。だが、「小京都」と称される津和野の街並み、萩の吉田松陰はじめ明治維新の志士に関する施設や美しい日本海とその味覚、秋芳洞の神秘的な奇観などに僕は圧倒され、邪心は払拭された。この二泊三日は間違いなく一生忘れない思い出になった。

萩・松陰神社

（竜海中卒）

進路　目標に向かって

三年　髙坂　萌衣

岡高生は部活や行事を全力で楽しみながらも限られた時間を有効活用し、志望大学への合格を掴み取っています。

「行ける」大学ではなく「行きたい」大学を目指し、最後まで妥協することなく互いに切磋琢磨する。これこそ岡崎高校の伝統であり誇りなのです。

（安城南中卒）

『今春の大学入試結果等』

大学合格者数		主な大学の合格者数	
国立大	278（66）	東京	23（2）
公立大	43（13）	京都	28（9）
私立大	812（242）	名古屋	72（13）

（　）内は、既卒者の数です

体験入学

池田　聡汰

八月二日㈮に岡高体験入学があります。在校生から岡高のリアルを教えてもらえ、直接質問もできます。さらに、部活動を見学することもできます。

昨年夏に私も参加しましたが、参加後には、「僕は岡高に入るために生まれてきたんだ」と思いました。受験校決定のとても良い判断材料となりますから、みなさんぜひ参加してくださいね！

（豊橋南部中卒）

ちょっと長めの編集後記

新聞部部長　青葉　結子

中三生の皆さん、岡高新聞中学生版をここまで読んでくれてありがとう。執筆者の中に知り合いの先輩はいましたか？そして、岡高の等身大の姿は伝わったでしょうか？中三の夏、皆さんの中には志望校が決まっている人も、まだこれからだという人もいると思います。記事を読んで岡高を視野にいれてくれた人や少しでも興味を持ってくれた人が増えたなら幸いです。岡高新聞中学生版は今後も発行する予定です。また紙面でお会いしましょう。

（豊橋中部中卒）